

原発問題やハンセン病などの社会派ドキュメンタリーを手掛ける映画プロデューサー鵜久森典妙さん(68)が西宮市に自転車をテーマにした写真展が28日、神戸市兵庫区神田町の「いちばきやらしい侘香」で始まった。阪神間で撮影した40点が展示されている。5月13日まで。

鵜久森さんは映画制作の傍ら、写真撮影も続けている。これまでも地面に落ちた影や冬空に寒々と立つ

今回のテーマは「ちやりん」。会場には、夏の強い日差しの下、日光浴を楽しむ男性の傍らにある自転車や、秋らしく黄色に色づいたイチョウの木の下に止まるオレンジ色の自転車など、日常の中のドラマを感じさせる作品が並ぶ。

鵜久森さんは「身近過ぎて見過ごされがちで、人と自転車の関係を楽しんでもらえたら」と話している。

午前11時～午後6時(5月13日は午後3時まで)。

神戸
映画プロデューサー鵜久森さん
「自転車」テーマに写真展



自転車をテーマにした写真が並ぶ会場＝神戸市兵庫区神田町